

「Unit5 A New Language Service」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力
他者とのかかわる力

主体的に学ぶ力

単元について

○単元観

本単元は、緑市が外国人住民のためのボランティアを募集しており、その事業に対して一郎の母が意見を述べるという場면을扱っている。英語で書かれた新聞記事や投書を読み、その内容を理解することが必要である。文法事項としては、接続詞 if, that, when, because の用法を理解し、表現できることが求められている。接続詞を用いることで、より多くの情報を読み取ったり、理由などを付け加えて表現したりすることができると考えられる。このことは、学習指導要領の「エ 書くこと（オ）自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」に関連する。

○生徒観

本学級の生徒は、発言や活動に意欲的である。発音練習などの繰り返し学習も、ペア活動やグループ活動にも意欲的に取り組む生徒が多い。1学期に行った生徒アンケートで、「英語の授業で学習規律を守っているか」という項目の肯定的な評価をした生徒は91.4%であった。しかし、「英語の授業はわかりやすいか」という項目での肯定的評価をした生徒は77.1%であり、授業には意欲的に取り組んでいるが、授業内容を理解できている生徒は少ないということがわかった。また、平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査では、条件をもとにつなりのある英文を書く問いにおいて、通過率は51.0%であり、6.6%の無解答があった。生徒が自分の意見を持ち、つなりのある英文を正しく書けるようになるための手だてが必要であると考ええる。

○指導観

本単元で扱われる、外国人住民のためのボランティアや言語サービスに関する新聞記事の文章では、I think (that)～. と自分の意見を述べる表現や、if, when, because などの接続詞が使用されている。また、for example と例を挙げたり、in fact と事実を述べたりする表現も学習する。これらのことから、生徒の課題である「つなりのある英文を書く」指導に適した教材であると言える。教科書にある新聞記事の内容をふまえて、日本に住んでいる外国人がどのような考えを持っているか、ALTを中心に聞き取った内容を提示したり、授業の中でALTのエピソードを聞かせたりするなど、この話題を身近なものとしてとらえさせ、生徒が意欲的に取り組めるようにしたい。また、接続詞を用いた重要表現に関しては、帯活動で繰り返し練習させることにより、定着させ、生徒が自信を持って表現活動に取り組めるようにしたい。

単元の目標

- (1) 短い新聞・広報記事などに対する自分の意見を, 理由や条件を用いて自分の意見を表現する。
(外国語表現の能力)
- (2) 日本に暮らす外国人が困っていることなどについて会話したり, 自分の意見を積極的に発表したりする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (3) 接続詞 if, that, when, because 節を用いた文の形・意味・用法を理解する。
(言語や文化についての知識・理解)

単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①日本に暮らす外国人が困っていることなどについて会話したり, 自分の意見を積極的に発表したりしている。	①短い新聞・広報記事などに対する自分の意見を, 理由や条件を用いて表現することができる。	この観点では評価しない。	①接続詞 if, that, when, because 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。

資質・能力と評価の観点とのかかわり

本校の育てようとする資質・能力			評価の観点			
			関	表	理	知
知識						○
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①情報を整理・分析し, 自らの考えをまとめる力 ②適切に判断, 意思決定する力 ③様々な考えを, 批判的な視点で捉えようとする力 ④自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力		○	
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら考え, 自ら行動し, 自ら解決しようとする力	○		
価値観倫理観	他者とのかかわる力	他	①積極的に他者と協力し, 課題を解決しようとする力 ②他者との関わりを通して, 自らの考えを深めたり変えたりしようとする力	○		
	社会貢献力	社	①地域のよりよい社会のために, 何をすべきかを考え実行しようとする力			
	自己形成力	自	①前向きにチャレンジし, より自律・自立した人間になるようとする力 ②自らの考えや意見を持つ力			

Ⅰ 学習内容とⅡ 学習活動, Ⅲ 単元として育てたい資質・能力のつながり

Ⅰ 観光客としてだけでなく住民として日本に暮らす外国の人たちが直面する様々な問題とそれに対する取組について, Ⅱ 新聞記事を読んで理解する事や新聞記事についてペアで対話する事を通して, Ⅲ 自分の意見をわかりやすく表現する力を養う。

単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
<p>あなたは外国人の友人に次のような話題について意見を求められました。それに対する自分自身の意見を、理由とともに出来るだけ詳しく述べなさい。</p> <p>話題(例) I think Japanese students should wear plain clothes instead of school uniforms. *plain clothes 私服</p> <p>模範解答 I don't think so. To choose clothes every day is difficult, so it will take time. If you have school uniform, you don't have to choose clothes.</p>	A	結論先行型で自分の意見を述べ、自分の意見を支持する理由や理由を補足する具体例などを、正しい英語で相手に伝えている。
	B	結論先行型で自分の意見を述べ、自分の意見を支持する理由を、相手に伝わるように述べている。
	C	自分の意見や理由を述べようとしているが、相手に伝えたい内容を正しく伝えられていない。

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				評価規準 (評価方法)	◇資質・能力育成場面 【資質・能力】 ◆資質・能力評価場面 【資質・能力】 (評価方法)
			関	表	理	知		
1	課題設定	・日本に暮らす外国人住民が直面する問題や意見を資料の読み取りなどを通して理解する。(p50)	○				ア－① (活動の観察)	◇資料の分析を通して、問題や意見を分類・整理し、それらを解決するために、自らの意見をまとめる。 【思－①】【主－①】 ◇述べられた意見に対して、賛成か反対かを述べたり、端的に賛否の理由を述べたりする。 【思－④】 ◇他者と意見や賛否の理由を交流する中で、自分自身の意見を客観的にとらえたり、他者の意見を取り入れたりする。 【他－②】
2	情報の収集	・If節を用いた文の形・意味・用法を理解する。				○	エ－① (ワークシート)	
3		・短く述べられた意見に対して、自分の意見を端的に表現する。(p51)		○			イ－① (後にインタビューテスト)	
4		・that節を用いた文の形・意味・用法を理解する。				○	エ－① (ワークシート)	
5		・when節を用いた文の形・意味・用法を理解する。				○	エ－① (ワークシート)	

6		・外国人住民のために緑市が計画 中の新しいサービスについての新聞 記事を読んで理解する。(p52)						
7		・because 節を用いた文の形・意 味・用法を理解し表現する。				○	エー① (ワークシート)	
8		・外国人住民のために緑市が計画 中の新しいサービスについての投書 欄を読んで、賛否を表す意見文の 書き方を理解する。(p53)						
9	整理 ・ 分析	・日常生活や自分の身近な物事につ いて(福山市の外国人住民の困 っていることなど),自分の意見をも ち,理由をつけて表現する。	○				アー① (活動の観察) イー① (ワークシート)	◆福山市の外国住民 の抱える困難に対して 関心を持ち,それらを 解決するために,自ら 考え,意見を述べる。 【思ー①,④,他ー①】 (活動の観察,ワークシ ート)
10	まとめ ・ 表現 ・ 創造	・パフォーマンス課題 (短い新聞・広報記事を読んで, 自分の意見を持ち,その意見を 理由や条件とともに表現する)				○	イー① (インタビューテス ト)	◆与えられた情報を 分析して,自らの意見 をまとめ,相手が納得 するように,伝わりやす くまとめている。【思 ー①,④】 (インタビューテス ト)
11	振り 返り	・単元テスト				○	エー① (ペーパーテスト)	

本時の学習

(1) 本時の目標

日本に住む外国人が困っていることを資料から読み取り、それに対する自分の意見を理由とともに書く。

(2) 準備物

ピクチャーカード、ワークシート、ホワイトボード、ホワイトボード用マーカー

(3) 学習過程 (9限目/11)

整理・分析

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○指導上の配慮事項 ◆支援を必要とする生徒への手立て	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (5分)	1 英語係による号令 あいさつ 2 Warming up 単語・基本表現の練習 (K)…繰り返し挑戦する) 3 課題意識を持たせる。 日本に住む外国人が、日常生活で困っていることを紹介する。 4 本時のめあてを確認する。	○ペアで練習した後個人を指名して答えさせる。 ◆既習事項の中で、自分の意見を述べるときに使えるような表現を練習させる。 ○イラストや写真を用いて紹介する。	
【本時のめあて】 日本に住む外国人が困っていることを資料から読み取り、それに対する自分の意見を理由とともに書こう。			
展開 (40分)	5 日本に住む外国人が、日常生活で困っていることなどの英文を読み、自分ならどのようなアドバイスをするかを考える。 (J)…じっくり考える) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 外国人の意見を聞いて、自分の意見を書こう。 I usually ate lunch at the cafeteria <u>when</u> I was in the United States. But in Japan I have to bring my lunch box every day. <u>If</u> we have a cafeteria in my school, we can eat anything we like. What do you think? </div>	○外国人がどんな悩みや考えを持っているか、どのようなアドバイスができるか簡単な意見を言わせる。 ○日本語でメモをとった後、辞書や単語プリントを活用しながら、英文を書かせる。 ○if, when, that, because などの接続詞を最低一つは使うように指導する。 ◆例文やヒントとなる表現などをプリントに載せておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 解答例① I am for your idea. I want a cafeteria in my school <u>because</u> we can eat our favorite food. We don't have to bring our lunch box every day. 解答例② I don't think <u>that</u> we need a cafeteria in my school, because we have to bring money. </div>	イー ① 自分の意見を理由や条件を用いて表現することができる。 (ワークシート) 【思-①, ④】

<p>展開 (40分)</p>	<p>6 4人グループで交流する。 班で意見をまとめてホワイトボードに書き、黒板に掲示する。</p> <p>7 グループごとに意見を発表する。 他グループの発表を聞いて、理解を深める。 (H)…はっきり表現する)</p>	<p>○自分が書いた意見をグループ内で発表させる。 ◆まだできていない生徒は、他の生徒の意見を参考にして、自分の英文を完成させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>解答例 I am for your idea.</p> <p>We think <u>that</u> we need a cafeteria in my school. <u>If</u> we have a cafeteria, we can eat our favorite food. We don't have to bring our lunch box every day, so my mother doesn't have to make our lunch.</p> </div>	<p>ア－① 記事について会話したり、自分の意見を積極的に発表したりしている。 (活動の観察) 【他－①】</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>8 本時のまとめをする。</p> <p>9 本時を振り返り、次時につなげる。</p> <p>10 英語係によるあいさつ</p>	<p>○他の意見を聞いて考えたことやわかったことを書かせる。</p> <p>○これまで学習した内容について、インタビューテストをすることを伝える。</p>	